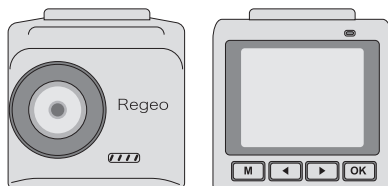


Regeo

ドライブレコーダー

DZ-325R

取扱説明書



この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

microSDカードの取扱いについて

本機が起動中(通電中)の状態でのmicroSDカードの抜き差しをしないでください。
必ず、電源が入っていない事を確認してからmicroSDカードの抜き差しを行ってください。
電源を切らずにmicroSDカードの抜き差しをすると破損、データ消失の原因となる可能性があります。
事故発生時は事故時のデータ保存のため、電源を切ってからmicroSDカードを抜いて保管してください。
詳細については、本書P.2の「microSD カードについて (重要)」を必ずお読みください。

保証書別添付

保証書は「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

はじめにお読みください

microSD カードについて (重要) -----	1	録画について -----	26
安全上のご注意 (必ずお守りください) ----	3	動画記録モード -----	30
使用上のご注意 (必ずお守りください) ----	7	静止画撮影 -----	31
商品構成一覧表 -----	12	再生モード -----	32
各部の名称と働き -----	13	設定メニュー -----	35
取り付けについて -----	15	録画時間について -----	38
microSD カードについて -----	19	PC ビューワー -----	39
本体と駐車監視ケーブルを接続する -----	22	トラブルシューティング -----	40
駐車監視について -----	23	その他 -----	41
電源オン / オフについて -----	25	仕様 -----	42

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHC や microSDXC カードを便宜上、「microSD」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車等の事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害または録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 配線接続の誤り等による車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED 方式の信号機は録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

microSDカードについて(重要)



本製品を使用する前は、必ず microSD カードをフォーマットしてください。
はじめにフォーマットをしないと、本機をご使用できません。



安定してご使用いただくため、microSD カードを定期的にフォーマットしてください。※推奨：2週間ごと

microSD カードのフォーマット操作方法については、P.21 を参照してください。

microSD カードのフォーマットとは？

フォーマットとは、microSD カード内のデータを初期化することであり、長期間 microSD カードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイルの断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせずにお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSD カードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくために、**製品お買い上げ時および2週間ごと（推奨）に定期的なフォーマット**をしてください。

※microSD カードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSD カード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSD カードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください

microSDカードについて(重要)



ご注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- 付属の microSD カードを使用してください。指定以外の microSD カードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- フォーマットをしないままご使用されると、正しく録画ができない場合があります。
- フォーマットをする際は、本機によるフォーマットをするか、パソコンでフォーマットを行ってください。
- microSD カードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSD カード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSD カード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSD カードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- microSD カードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- microSD カードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSD カードを取り出す時は、車のエンジンを止めるか本体の電源をオフにした上で安全な場所に停車してから行ってください。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- 市販の microSD カードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 市販の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販の microSD カードについての仕様に関しては、microSD カードメーカーへお問い合わせください。
- 変形している microSD カードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSD カードが正常に動作しない場合があります。
- microSD カード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんのでご注意ください。
- 本機は、8GB～32GB Class 10 の microSD カードに対応しています。ただし、全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。市販品の microSD カードを使用した場合の動作不良に対しては保証対象外となります。
- microSD カードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業による microSD カードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のため、必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
 注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために必ず守っていただきたい事項
 禁止	絶対にしてはいけない事項
 強制	必ず守るべき事項

警告

運転者は走行中に操作をしない、また
画像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険
を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近等)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルト
やナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキ等の保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

- ❗ 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカー等)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き直す

- ❗ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足等に巻き付かないように引き直し、まためたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

車のパイプ類・タンク・電気配線等の位置を確認して取り付ける

- ❗ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12V・24Vマイナスアース車で使用する。

- ⚠ DC12V・24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

- ⊘ 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火等の原因となります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

- ⊘ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステー等の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ⊘ 誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ⊘ 内部に金属物や燃えやすいもの等が入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物等がからないようにご注意ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

使用しないコードの先端等は、絶縁する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープ等で絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

指示に従って正しく配線・取付を行う

- ❗ 説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

車載用以外には使用しない

- ⊘ 車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない

- ⊘ ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子を外しておく

- ❗ バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ❗ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

強い衝撃を与えない

- ⊘ 落下させる、たたく等して衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

- ❗ 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれる等、事故や故障、火災の原因になることがあります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

高温になる場所等に取り付けない

- ❗ 直射日光やヒーターの熱風等が直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

- ❗ 雨や洗車等で水がかかったり、湿気、ほこり・油煙等が入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

- ❗ 傾いた場所、強い曲面等に取り付けると、走行中にはずれる・落下する等、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

-  雷が鳴り出したら、駐車監視用電源ケーブルには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない

- ❗ 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけてください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故等の損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

注意

取り付け時はエンジンを切る

-  本機取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で行けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

-  本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

-  トンネル入出時のように、急に明るさや暗さに変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源がない等の条件では、録画画質が落ちることがあります。

信号機の色を認識できないことがあります

-  LED方式の信号機では画面がちらちらすることがあります。また、色の認識ができないことがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする

-  車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

microSDカード容量超えを注意する

-  本機は16GBのmicroSDカードを付属しています。緊急録画で記録された動画は、設定により上書きされない場合があります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態等により、約50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自転車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自転車位置の測位を行うことはできません。
- 本機の録画データに記録される日時はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 本機のGPSは本体に内蔵されているため、本体には塗装やシール貼付等しないでください。
GPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。
- 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性やGPSが受信できない可能性があります。
- 本体は各車載機器（※1）および各アンテナ（※2）からなるべく離れた位置に設置してください。
車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。
そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
※1 ナビゲーション本体、ETC車載器、地デジチューナー、ピーコユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機等
※2 TVアンテナ、ETCアンテナ等
- GPSの受信環境により、起動時間が長くなったり、GPS受信までに時間がかかる場合があります。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。
- 最後に電源オフからの自転車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）等を搭載した車両に設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPSが測位しづらくなる場合があります。
- ナビゲーション本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機等の車載電子機器から漏れた電波により、GPSを受信できない場合があります。
- 長期間本機をご使用にならなかった場合や内蔵キャパシタの充電が空の場合、本体に内蔵のGPS測位（受信）に時間がかかる場合（3～4分）があります。その場合、電源を入れてからしばらくすると正常にGPS受信します。
- GPSが測位（受信）できていない場合、日時の自動取得ができなくなります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディション(※)によって、再起動する場合があります。頻繁に再起動する場合、車両/バッテリーの電圧をご確認してください。
※ストップ&ゴーを頻繁に繰り返すような渋滞時や車両のバッテリーを通常時よりも大きく消費する環境時(エアコンやハザード、デフロスター、ワイパー作動時等)に発生する可能性があります

録画について

- 本機は自動車等の事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキ等危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面および記録ファイル上、チラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、ディスプレイを注視しないでください。
- 画面モード切り替えや輝度調整、静止画撮影を行う場合、周囲の安全を十分に確認した上で操作してください。
- 設定操作を行う場合は、必ず、安全な場所で車両が止まっている状態(パーキングギアに入っている状態かつサイドブレーキがかかっている状態)で行ってください。
- 録画環境により、録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が青くなる場合や赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変化する場合があります。
- 長時間録画(フレームレート変更)した場合は、標準での録画よりも画質が低下する場合や滑らかな映像再生ができません。
- 電源オン後、SDカード読み込みのため、録画開始まで時間がかかる場合があります。
必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- 液晶画面で見る映像と実際の記録された映像ファイルでは環境や走行状態、光の加減等で違いが生じる場合があります。
- 特に夜間等、光源が少ない場所等では、歩行者や自転車等が横切った場合、残像が生じる場合があります。これは映像処理によるものであり、故障ではありません。
- 特に夜間等、自車のヘッドライトにより、前方の車両ナンバーが白飛びする場合があります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意(必ずお守りください)

取り付けについて

- 本書の「取り付け」にしたがって、正しく取り付けてください。
→P.15「取り付けについて」
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限られています。
- 運転者の視界の妨げにならないよう、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置をしてください。
※ウェザー・ストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く
- 本機のレンズ部分がサンシェードやクロセラライン、クロセラパターンにかからない位置に取り付けてください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコン等の近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や衝突回避支援システム(カメラ)等に干渉しない場所へ取り付け配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグ等の安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨等で本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。また、必ず車内に取り付けてください。
- カメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れ等をしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取り回しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちる等の可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のものは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に付けてください。降雨時等に鮮明に記録できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合は、シガー電源アダプターを抜いてください。
- 定期的に車両のバッテリーコンディションを確認してください。
- 本機を使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車両ヒューズの無い配線へ接続を行うと火災や故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線についているギボシ端子をご使用ください。エレクトロタップ等のご使用は接触不良を起こす場合があります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

本機の日付と時刻について

- 本機の日付と時刻は、GPSデータを受信すると自動で設定されます。
GPSデータを受信できない場合は、手で設定された日時を表示します。
→設定メニュー P.36
 - ※トンネルやビル群、山間部等GPSを受信できない環境では日時が取得できません
 - ※GPSを受信できない環境に置かれた場合、録画データの日時にずれが生じることがあります
 - ※GPS情報が取得できない場合、未取得直前までのGPSによる取得日時情報を反映・継続します
 - ※GPS情報が取得できた時点で強制的にGPSによる取得日時に切り替わります

カメラレンズについて

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。
また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

スーパーキャパシタについて

- 本機搭載のスーパーキャパシタは、急に電源が遮断されたときに現在録画している映像の破損を防ぎ安全に保護するためのバックアップ用電源です。以下の点にご注意ください。
 1. 初めてご使用になるときや長時間使用されてないときは、スーパーキャパシタの特性上、電気容量が少ない状態です。
その場合は、必ず「20 分以上」充電をしてから本機の電源をお切りください。
3 分未満の充電で電源をお切りになった場合、録画している映像が正しく保存されない場合がありますので、ご注意ください。
 2. 本機の電源を切ってから約 5 日間充電を行わない場合、スーパーキャパシタの電荷が放電され、日付の設定が工場出荷状態に戻ります。そのため 5 日以内の充電をおすすめします。

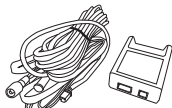
商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

標準同梱品



■ドライブレコーダー本体



■駐車監視用
電源ケーブル



■取付ステー
(3M両面テープ付)



■3M 両面テープ予備



■microSDカード16GB
(本体に装着)



■リセットピン



■取扱説明書

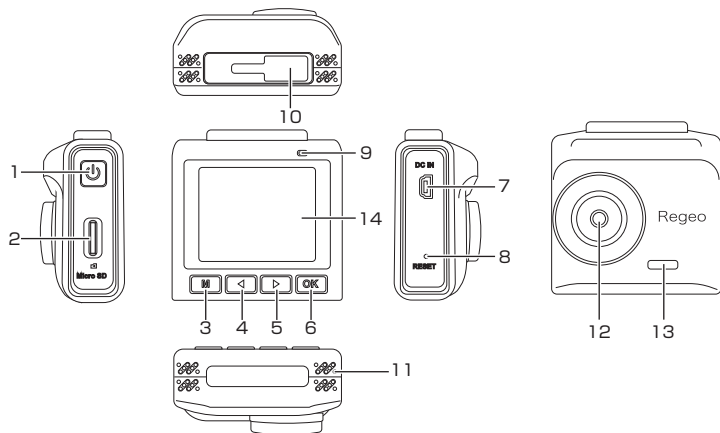


■保証書

取付ステーの使用について

- 付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバッグ等の安全装置の動きを妨げないように取り付けてください。
- 取付ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにご覧ください。ほこりや異物、油分は両面テープに影響があり、落下・脱着する恐れがあります。

各部の名称と働き



1.電源ボタン

電源オン時

:長押しで電源オフになります

電源オフ時

:長押しで電源オンになります

2.microSDカードスロット

microSDカードを挿入します

3.MENUボタン

・短押し

ループ録画中

:録画を停止して設定メニュー画面に切り替えます

緊急録画中

:無効

メニュー画面中

:録画画面に切り替えます

(メニュー画面の第二階層の場合、一つ前の画面に戻ります)

・長押し

:液晶画面をオフにします(電源オフではありません)

各部の名称と働き

4.◁(緊急録画)ボタン

ループ録画中	:緊急録画を開始します
緊急録画中	:無効
メニュー画面中	:カーソルを移動します

5.▷(静止画撮影)ボタン

ループ録画中	:静止画撮影を行います
緊急録画中	:静止画撮影を行います
メニュー画面中	:カーソルを移動します

6.OKボタン

ループ録画中	:再生モード画面に切り替えます
緊急録画中	:無効
メニュー画面中	:項目を決定します

7.miniUSB端子

付属の駐車監視用電源ケーブルを接続します

8.リセットボタン

本機が動作しなくなった場合、付属のリセットピンを刺してください
リセットすると、本機が再起動します(各種設定はクリアされません)

9.パワーインジケーター

ループ録画中	:点滅表示します
緊急録画中	:点滅表示します
メニュー画面	:点灯表示します
再生モード中	:点灯表示します

10.ジョイントレール

付属の取付ステーを取り付けます

11.スピーカー

操作音や再生時の音声が出力されます

12.カメラレンズ

工場出荷時に保護フィルムが貼ってありますので、ご使用前に剥がしてください

13.マイク

周囲の音声を集音します

14.液晶モニター

画面表示します

取り付けについて

取付ステーを使って、車に本機を取り付けます。

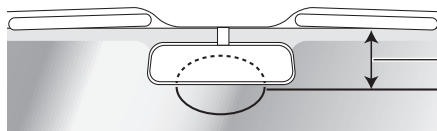
取り付け上のご注意：本機を取り付ける前に以下の内容をご確認のうえ、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となる場合があります。
- 車に取り付ける際には、運転、視界の妨げとなる場所には取り付けしないでください。
- フロントガラスの上部 20%の範囲以内に取り付けてください。
- 同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 同梱品の接続ケーブル以外のものを使用しないでください。
- 運転操作に支障が生じる場所へ取り付けしないでください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨等で本機やシガー電源アダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時等に鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグ等の安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けしないでください。
事故の際に安全装置が動かず、けがの原因となります。

推奨取り付け位置(参考)

取り付け位置（正面）

(1) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適な映像を録画できます。



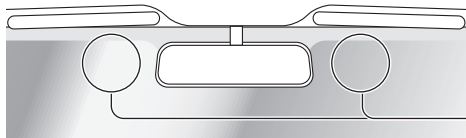
フロントガラスの上部から
20%以内に取り付けてください。

・カメラレンズが、サンシェードや黒セラドットパターン、黒セララインにかからないように注意してください

取り付けについて

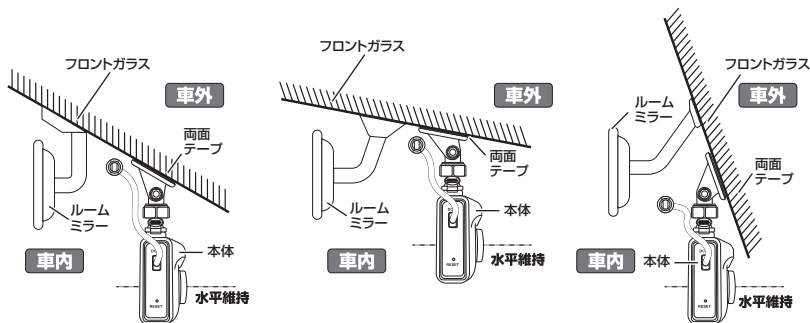
(2) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置できない場合は、ルームミラーの左、もしくは右側にも設置することができます。

※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります



左右の場合もフロントガラスの上部から20%以内に取り付けてください。

取り付け位置（側面図）

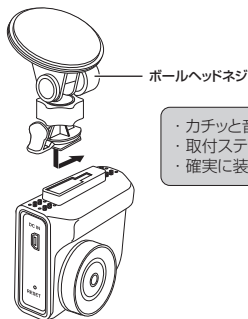


- ・図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・本機が取り付いた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。
- ・図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

取り付けについて

取り付け方法

1. 取付ステーを本体のジョイントレールに合わせて矢印の方向にスライドさせ、本体装着します。

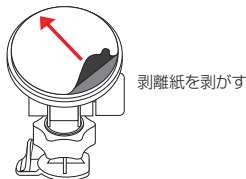


- ・ カチッと音が鳴るまで奥までスライドさせます（ロックされます）。
- ・ 取付ステーのジョイント部の向きに注意して、奥まで確実に装着してください。
- ・ 確実に装着していないと、走行中に落下する恐れがあります。

2. 車の進行方向に合わせて、ボールヘッドネジを緩めて、レンズの角度を調整してください。

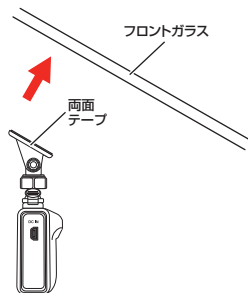
- ・ 取付ステーのジョイント部に対して、無理な力を入れないでください。破損することがあります。

3. ステーを取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油等をきれいに取り除いてください。
4. ステーの両面テープから剥離紙を剥がしてください。



取り付けについて

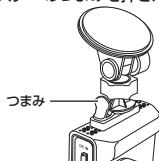
5. スターの両面テープ側をフロントガラスに取り付けてください。



- ・ 固定力を強くするために、本体を取付後 24 時間以上放置してから使用してください。
- ・ 貼り直しはテープの粘着力が弱まり、脱落する恐れがあります。

取り外し方法

スターから本体を取り外す時には、取付スターのつまみを押さえながら、取り付けとは逆の方向へスライドさせてください。



- ・ 取り外する場合、無理な力を入れないでください。破損することがあります。

microSDカードについて

microSDカードの挿入と取り出し

1.microSD カードを挿入する前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。



本機動作 LED ランプが点灯していないことを確認してください

- ・ 本機動作中に microSD カードの挿入、取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがありますので、おやめください。

2.microSD カードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



3.microSD カードが内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

- ・ カチッと言音するまで差し込んでください。

4.microSD カードを取り出す時は、一度カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜きます。



- ・ microSD カードを取り出す前に、必ず本体の電源をオフにしてください。
- ・ 事故発生時に記録された映像データが壊れないように必ず本体の電源をオフしてから microSD カードを抜いて保管してください。

microSDカードについて

microSDカードのフォーマット



ご注意

本機を使用する前に、microSD カードを本機でフォーマットする必要があります。

- microSD カードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されますので、予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。
- フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定された状態かつ車両が停止している状態で行ってください。
- フォーマット中は電源を切らないようご注意ください。

microSD カードのフォーマットとは・・・

microSD カード内のデータを初期化することであり、長期間 microSD カードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイルの断片化）が発生しやすくなります。フォーマットせずにお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSD カードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくために、製品お買い上げ時および2週間ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSD カードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSD カード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

microSDカードについて

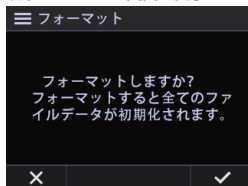
microSD カードをフォーマットするには、下記の手順が必要となります。
microSD カードをフォーマットする前に、重要なデータは必ずバックアップしてください。

フォーマット操作

1. 同梱されている microSD カードが挿入されていることを確認する。
2. 車のエンジンをオン（ACC ON）にして、本体を起動する。
3. 設定メニューに切り替える。



4. フォーマットを選択する。
5. 以下のメッセージ画面が表示されるので、OK[✓] ボタンを押します。



6. フォーマット動作が終わるとフォーマット完了となり、自動的にメニュー画面に戻ります。

本体と駐車監視用電源ケーブルを接続する

電源を入れる

●接続方法

1. ミニ USB 電源コードと車両側電源コードをタイマー電源本体に接続してください。
2. 各端子を目的別に設定してください。(※P23「駐車監視設定」参照)
3. スイッチ設定前に必ず動作確認を行ってください。
※ACC ON で電源 LED が点灯し、ACC OFF で電源 LED が消灯することを確認してください。
消灯しない場合はアクセサリ電源の接続先を変更してください。

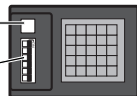
設定スイッチは先端の細いつまようじ等で前後にスライドさせてください。



ドライブレコーダー (市販)



タイマー電源本体



●電源LED
電源供給時、緑に点灯します。

●設定スイッチ

ミニUSB電源コード

ミニUSB端子に接続します。

※ 取り外しはコネクター本体を持って行ってください。コードでコネクターが引っぱられないように配線してください。

車両側電源コード
(0.5SQ.X3本)

- (赤) アクセサリ電源(ACC)・・・ エンジンキーでON/OFFする電源に接続してください。
(OFF時の電圧が0Vになることを確認してください。)
- (赤) ★
- (黄) 常時電源(BATT)…………… エンジンキーでON/OFFせず、常に電圧がかかっている車両側ヒューズを通った後の電源に接続してください。
- (黄) ★
- (黒) アース…………… 車両のアースのとれている金属部分のボルト、ねじに共締めしてください。
★使用しない場合はギボシキャップを外さないでください。

4. エンジンオンにすると、本体に電源が入り、オープニングロゴが表示されます。
オープニングロゴ表示後、自動的にループ録画を開始します。

駐車監視について

駐車監視設定

エンジン停止後もドライブレコーダーに電源を供給することで駐車中の映像が録画できます。

※電圧監視機能(カットオフ電圧設定)とオフタイマー機能(最長 30 時間)によりバッテリー上がりを予防します。

<<カットオフ電圧の設定>>

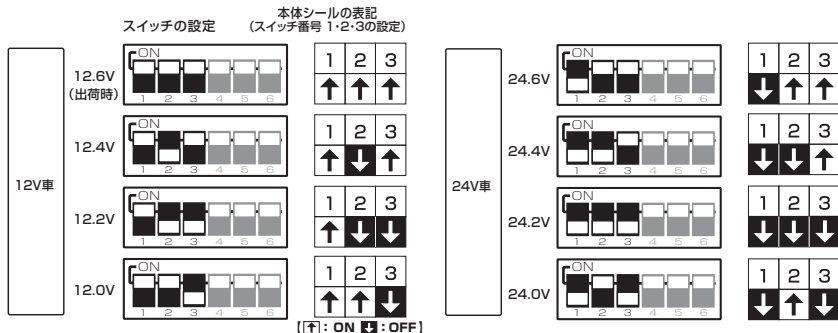
エンジン停止後、バッテリー電圧が下がった時に電源供給を停止する電圧値の設定です。

(オフタイマーの設定を 1 時間にして行ってください。)

①12.6V から一段ずつ下げて設定してください。(車種、バッテリー状態によって設定は異なります。)

②設定後、ACC OFF にしてください。

③30 秒以内に電源が停止した場合に一段低い設定にしてください。



ご注意

- 消耗したバッテリーでは正常な動作をしない場合があります。
- バッテリー上がりや電圧降下を予防するために、エンジンを定期的にかけてください。
- バッテリーは定期的に点検をしてください。

駐車監視について

駐車監視設定

<<オフタイマーの設定>>

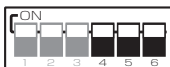
エンジン/停止後もドライブレコーダーを動作させる時間の設定です。
(エンジン停止時点/ACC OFFから作動します。)

駐車時間や車両の使用用途に合わせて設定してください。

スイッチの設定

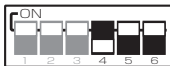
本体シールの表記
(スイッチ番号 4・5・6の設定)

タイマー-OFF
(出荷時設定)

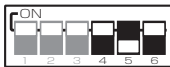


※タイマー-OFF設定の場合には本品はエンジン/停止時作動しません。

1時間



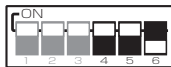
3時間



6時間



12時間



18時間



24時間



30時間



製品の特性上、駐車監視中（エンジンオフの状態）はドライブレコーダーの電源がオンの状態となるため画面が点灯しておりますが故障ではありません。
設定したカットオフ電圧またはオフタイマーに応じて電源がオフになる仕様となります。



ご注意

- オフタイマーの時間が来る前でもバッテリーの電圧が下がった場合は本機を停止します。
(※設定電圧と時間は使用環境により±3%程度の誤差が生ずる場合があります。)
- ハイブリッド車、充電制御車の一部はバッテリー電圧が低めに設定されているため、早めに設定電圧以下に達してしまいオフタイマーの時間が来る前に本機が停止する場合があります。

電源オン/オフについて

電源動作

●エンジン連動による電源オン / オフ

電源がオンの状態で車のエンジン（ACC）をオフにすると、駐車監視設定により自動的に電源がオフとなります。
電源がオフの状態で車のエンジン（ACC）をオンにすると、電源がオンとなります。

●マニュアル操作による電源オン / オフ

電源がオンの状態で本体の電源ボタンを長押しすると電源がオフとなります。
電源がオフの状態で本体の電源ボタンを長押しすると電源がオンとなります。
但し電源がカットオフ状態の場合は、オンなりません。

ご注意

- 端子・コネクターは奥までしっかり差し込み、スリーブは金属部分が隠れるまで被せてください。
- 定期的にバッテリーの点検を受けてください。
- バッテリー上りと付随する事象に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
- 製品の特性上、駐車監視中（エンジンオフの状態）はドライブレコーダーの電源がオンの状態となるため画面が点灯しておりますが故障ではありません。設定したカットオフ電圧またはオフタイマーに応じて電源がオフになる仕様となります。
- 電源をオフにした場合、直前までの記録されたファイルが保存されます。
- 電源オンから録画まで約 5 秒程度かかります。
- 電源をオンにしてから録画開始する間にエンジンオフ（電源オフ）にすると、記録することはできません。
- 本機の電源をオフにした直後、再度電源をオンにした場合、内部のメモリ保護回路が働くため、電源が入らない場合があります。
電源をオフにしてから約 5 秒～10 秒以上経過した上で、再度、電源をオンにしてください。
- 長期間使用されなかった場合、スーパーキャパシタの充電が不十分であるため、すぐに電源が入らない場合があります。
- 初めてご使用になる場合や長期間使用しなかった場合は、20 分以上本体通電してください。

録画について

録画の種類

●ループ録画（常時録画）

本機の設定により、ループ録画時は 1 分間 / 2 分間（選択可）単位で連続して録画します。
録画領域が上限に達すると、古いファイルから自動的に上書きをして録画を続けます。

1 ファイル	1 ファイル	1 ファイル	1 ファイル	1 ファイル	録画継続・・・
--------	--------	--------	--------	--------	---------

●緊急録画

1. 緊急録画について

録画中、緊急録画ボタン[<]を押す、あるいは本機に搭載されている G センサーが衝撃を感知すると、緊急録画を開始します。
緊急録画を開始すると、「緊急録画中」というメッセージが表示され、画面上部に「緊急録画アイコン」が表示されます。
※緊急録画は「ループ録画」の設定時間に依存します

緊急録画アイコン



2. 緊急録画のファイル保存について

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が異なります。

<緊急録画の動作例>

- ※ループ録画時間設定を「1 分」に設定時、動画①→動画②→動画③・・・と録画し続けます
- ※動画②の時にアクシデントが発生して、G センサーが衝撃を感知した場合、緊急録画が開始します
- ※★は緊急録画の開始時点

動画①	動画②	動画③	
1 分	10s ★1 40s ★2 10s ★3	1 分	録画継続・・・

事故発生

録画について

- ★1：動画②の最初から10秒以内に緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。
- ★2：動画②の最初・最後10秒以外に緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。
- ★3：動画②の最終10秒以内に緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

3. 緊急録画終了時

緊急録画完了後、自動的にループ録画に戻ります。

緊急録画のファイル上書き

本機の設定により、緊急録画ファイルの保存領域が上限に達すると、古いファイルから自動的に上書きすることが可能です。

→設定メニュー P.35

緊急録画上書き：[オフ]設定の場合

緊急録画ファイルの保存領域が上限に達すると、衝撃を感じても緊急録画を行うことができません。

※緊急録画ボタンを押した場合も同様となります

緊急録画上書き：[オン]設定の場合

緊急録画ファイルの保存領域が上限に達すると、衝撃を感じた場合、古い緊急録画ファイルを上書きして、緊急録画ファイルを保存します。

※緊急録画ボタンを押した場合も同様となります



ご注意

- 緊急録画上書き設定が[オフ]の場合、緊急録画ファイルの保存領域が上限に達している、思わぬアクシデント等で衝撃を感じても緊急録画を行いませんので、保存領域の確保をするため、ファイルは定期的にパソコン等へバックアップし、microSDカードの保存領域を確保することをお勧めします。
- 緊急録画上書き設定が[オフ]の場合、容量上限に達した際、「緊急録画ファイルが上限に達しました」とメッセージ表示されます。
- 緊急録画上書き設定が[オン]の場合、緊急録画ファイルの保存領域が上限に達している、緊急録画が行われるたびに日付の古い緊急録画ファイルから順に上書き（消去）されますので、大切なファイルはパソコン等へバックアップすることをお勧めします。

録画について

録画ファイル種別

ループ録画ファイルと緊急録画ファイルの種別は、microSD カードの映像データをパソコンに取り込むことで、以下のように確認できます。

| フォルダ

名前	更新日時
 Event	2023/12/05 16:43
 Normal	2023/12/05 16:43
 Photo	2023/12/05 16:43

<保存先フォルダ名>

Event	: 緊急録画フォルダ
Normal	: ループ録画フォルダ
Photo	: 静止画フォルダ

| ファイル

名前	更新日時
 EMER231205-164915-000012F.MOV	2023/12/05 16:50
 FILE231208-064432-003650F.MOV	2023/12/08 6:45
 IMG231207-181957-000001F.JPG	2023/12/07 18:19

<録画種別（保存ファイル名）>

※ファイル先頭の英語名称

EMER	: 緊急録画フォルダ
FILE	: ループ録画フォルダ
IMG	: 静止画フォルダ

| ファイル名の説明

EMER231205-164915-000012F.MOV

録画種別

記録年月日

記録時刻

ファイル連番

拡張子

録画停止

録画の停止方法は以下のいずれかの方法となります。

- ・設定メニュー画面へ切り替える
- ・再生モード画面に切り替える

※上記の画面からループ録画画面に切り替えると、自動的にループ録画を開始します

録画について

ご注意

- 「緊急」とは、衝撃を感知した場合の録画という意味です。
- 衝撃感度の設定が「高」に設定されている場合、衝撃が感知しやすくなり、「低」に設定されている場合、強い衝撃のみ感知します。お好みの感度に設定してご使用ください。
- 感度設定を「低」に設定されている場合、強い衝撃のみ感知するため、事故時等緊急録画ファイルとして、扱われなくなり、通常録画であるループ録画ファイルとして保存される場合があります。その際は衝撃感知の設定を見直してください（設定メニューで設定変更できません）。
- 本体の設置場所により、衝撃を受けた際の感度（反応）が異なる場合があります。
- ループ録画ファイルと緊急録画ファイルはフォルダ別に保存されます。
- ループ録画録画ファイルは、microSD カードの容量に割り当てられている保存領域の割合を超えた場合、古い記録ファイルから順番に上書きされますので、ご注意ください。
- ループ録画ファイルは循環して上書きするため、大切なデータは定期的にデータをバックアップしてください。
- 緊急録画ファイルは設定により、録画ファイルを上書き「する」または「しない」の設定が可能となります。
- 緊急録画ファイルの上書き設定を「する」にした場合、microSD カードの容量に割り当てられている保存領域の割合を超えた場合、古い記録ファイルから順番に上書きされますので、ご注意ください。
その場合、循環して上書きするため、大切なデータは定期的にバックアップしてください。
- 緊急録画ファイルの上書き設定を「しない」にした場合、microSD カードの容量に割り当てられている保存領域の割合を超えた場合、アクシデントがあった場合でも緊急録画を行いませんので、ご注意ください。
万一来備えて、大切なデータは定期的にバックアップを行い、microSD カードの空き容量を確保することをお勧めします。

動画記録モード

動画記録画面

1.液晶画面

映像画面を表示します

2.録画アイコン

録画中に録画アイコンが表示されます

録画中は点滅表示します

3.分秒表示

録画中の分秒を表示します

4.速度表示

GPSで測定した車速を表示します

※実際の速度とは異なる場合があります

5.GPSアイコン

GPSが測位された場合、GPSアイコンを表示します

※GPSが測位できない場合、アイコンがグレー表示となります

6.マイクアイコン

音声録音の設定が[オン]の場合、アイコン表示します

※[オフ]の場合、アイコンがグレー表示となります

7.メニューアイコン

本体の[MENU]ボタンを短押しすると、設定メニューに切り替わります

※本体の[MENU]ボタンを長押しすると、液晶画面がオフになります

8.緊急録画アイコン

本体の[<] (緊急録画) ボタンを押すと、緊急録画を行います

9.静止画撮影アイコン

本体の[▷] (静止画撮影) ボタンを押すと、静止画撮影を行います

10.再生モードアイコン

本体の[OK]ボタンを押すと、再生メニューに切り替わります

11.日時表示

日付と現在時刻を表示します

→日時表示について P.11「本機の日付と時刻について」

12.緊急録画アイコン

緊急録画が開始された場合、緊急録画アイコンが表示されます

13.microSDカードアイコン

microSDカードが挿入されていない場合または認識されていない場合に表示します



静止画撮影

静止画撮影画面

ループ録画中、本体の[>(静止画撮影)]ボタンを押すと、現在液晶画面に表示されている映像を静止画撮影します。

撮影した際、静止画撮影アイコンが画面表示されます。

※緊急録画中でも静止画撮影することができます

※録画中に静止画撮影を行っても、録画ファイルに影響はありません



静止画撮影アイコン

再生モード

再生モード画面

再生モード画面では、記録された各種ファイルを確認(再生)することができます。
ループ録画中、本体の[OK]ボタンを押すと、再生モード画面に切り替えることができます。

●再生モード TOP 画面

録画種別を選択します。

- 1.ループ録画
ループ録画のサムネイル画面に切り替えます
- 2.緊急録画
緊急録画のサムネイル画面に切り替えます
- 3.静止画
静止画のサムネイル画面に切り替えます
- 4.戻る
一つ前の画面に戻ります
- 5.カーソルUP/DOWN
カーソル位置を切り替えます
- 6.OK
選択します(選択するとサムネイル画面に切り替わります)



種別ごとの録画ファイルリストが表示されます。

- 1.ファイル種別
各モードの録画種別を表示します
- 2.タイムスタンプ
録画ファイルの撮影記録日時を表示します
- 3.録画ファイル
録画ファイルをサムネイル画面表示します
- 4.戻る
一つ前の画面に戻ります
- 5.カーソルUP/DOWN
カーソル位置を切り替えます
- 6.OK
選択します(選択すると再生モード画面に切り替わります)



再生モード

再生モード画面

●再生画面

- 1.タイムスタンプ**
撮影記録日時を表示します
※日付プリント設定が[オン]になっているファイルが対象となります
- 2.ファイル数**
ファイル数を表示します
- 3.記録時間**
録画ファイル記録時間を表示します
- 4.戻る**
一つ前の画面に戻ります
- 5.ファイルUP/DOWN**
前/次のファイルに切り替えます
- 6.オプション操作**
オプション操作画面に切り替えます



●オプション操作画面

- 1.Pause**
再生中ファイルを一時停止します
- 2.削除**
ファイル削除画面に切り替えます



再生モード

●ファイル削除画面

1.実行

ファイルを完全に削除します

2.キャンセル

削除をキャンセルします



2

1



ご注意

- 再生モード画面中（ファイル停止中）、何も操作をしない状態が30秒経過すると、録画画面に自動的に切り替わります。

設定メニュー

設定メニュー画面

「MENU」ボタンを押すと、設定メニュー画面に切り替えることができます。

メニュー	1/4	メニュー	2/4	メニュー	3/4	メニュー	4/4
ループ録画時間	1分>	緊急録画上書き	オフ>	操作音	オン>	バージョン	
解像度	FHD>	音声録音	オン>	音量		言語	日本語>
露出補正	0>	液晶OFFタイマー	オフ>	日付プリント	オン>	フォーマット	
衝撃感度	中(標準)>	フリッカレス	50 Hz>	日時調整		設定初期化	
←	<	>	↵	←	<	>	↵

設定メニュー一覧

項目	設定内容	説明
ループ録画時間	1 分 2 分	常時録画で記録される 1 ファイルごとの録画時間を設定します。
解像度	FHD HD	録画する映像ファイルの解像度を設定します。 ・ FHD : 1080P (高画質) ・ HD : 720P
露出補正	-6~0~+6	記録される画質の露出 (明るさ) のレベルを設定します。
衝撃感度	オフ 高 中 (標準) 低	G センサー (衝撃) 感度を設定します。 ・ オフ : G センサーによる緊急録画を行いません ・ 高 : 検出しやすくなります ・ 中 (標準) : 標準の感度となります ・ 低 : 検出しにくくなります
緊急録画上書き	オン オフ	・ オン : 緊急録画ファイルの保存領域が上限に達した場合、緊急録画が行われると、古いファイルを上書きします ・ オフ : 緊急録画ファイルの保存領域が上限に達した場合、緊急録画を行いません

設定メニュー

項目	設定内容	説明
音声録音	オン オフ	音声の録音をする・しないを設定します。
液晶 OFF タイマー	オフ 30 秒後 1 分後	・ オフ : 液晶画面はオフになりません ・ 30 秒後 : 液晶表示中、無操作で約 30 秒経過すると液晶画面がオフとなります ・ 1 分後 : 液晶表示中、無操作で約 1 分経過すると液晶画面がオフとなります
フリッカレス	50Hz 60Hz	東日本地域の場合、50Hz に設定してください 西日本地域の場合、60Hz に設定してください ※録画記録時に、蛍光灯等のチラつきを低減します
操作音	オン オフ	操作した際、鳴動音を出力する・しないを設定します。
音量	オフ、1～5	操作音や再生音の音量を設定します。
日付プリント	オン オフ	記録ファイルに日時や時刻を記録する・しないを設定します。
日時調整	—	GPS が測位されていない場合、手動で日時を設定することができます。 GPS を測位した場合は、GPS からの日時情報を優先表示します。
バージョン	—	本機のバージョン情報を表示します。
言語	日本語 English 簡体中文	本体メニューの表示言語を切り替えます。
フォーマット	—	microSD カード内のファイルをフォーマットします。
設定初期化	—	本機の設定を全て工場出荷状態に戻す（記録ファイルは消去されません）。

設定メニュー



ご注意

- 設定メニュー画面中、何も操作をしない状態が 30 秒経過すると、録画画面に自動的に切り替わります。
- 設定初期化を行うと、全ての設定値が初期化されますので、ご注意ください。

録画時間について

本機に使用するmicroSDカードのサイズと解像度により、記録時間が異なります。

	1080P (1920×1080)	720P (1280×720)
16GB	約 225 分	約 290 分

ご注意

- ループ録画ファイルと緊急録画ファイルの合算となります。
- microSDカード内の各ファイルが以下のように振り分けされます。
 - ・ループ録画ファイル : 60%
 - ・緊急録画ファイル : 32%
- 映像データ1分=標準データサイズとなる45～65MBを基準として算出しています。
- 上記は理論値のため、目安となります(システムデータ領域も含まれます)。
- 被写体や撮影条件等によりデータサイズが変化します。そのため、データサイズはファイルごとに異なります。

PCビューワー

PCビューワーについて

専用のアプリケーションを使用することで、録画した動画ファイルを PC 上で再生することができます。

推奨動作環境

対応 OS	Microsoft® Windows 7 (64bit) 以降
CPU	1.5GHz以上
メモリ	RAM 8GB (DDR3) 以上
HDD/SSD	1G以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1280x720以上の解像度で表示可能なディスプレイ
対応ブラウザ	Microsoft Edge
その他	.NET Framework 4.5以上 ※インストール時、使用時ともにシステム管理者 (Administrator) 権限が必要な場合があります ※microSDカードを読み込みできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダー等をご使用ください ※シンボリックリンクでの動作保証はしておりません ※インターネット環境が必要となります ※オフラインでも再生操作等は可能ですが、地図表示や地図との連携および本ソフトの更新はできません

推奨動作環境

以下、弊社ホームページより専用PCビューワースoftをダウンロードしてください。
使用方法等の詳細な説明はホームページ上にあります。

https://innovativesale.co.jp/link/goods/diletto/manual/DZ-325R_PCViewer_Manual.pdf

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。
下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	・ 本機の電源はオンになっていますか？ ・ 配線は正しく接続されていますか？ ・ ヒューズが切れていませんか？	・ 本機の電源をオンにしてください ・ 配線を見直してください ・ ヒューズを交換してください
誤作動する	—	本機のリセットボタンを押してください。 本機を再起動してください。 再起動とリセットをしても改善しない場合は、電源をオフにして、挿入している microSD カードに保存されているデータをバックアップしてから、フォーマットしてください。
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です。不良ではありません。(有効画素数 99.99%)	—
録画ができない	・ microSD カードが本体に挿入されていますか？ ・ 録画状態に切り替わっていますか？	・ microSD カードが本体に挿入されていることを確認してください。 ・ 対応している microSD カードに交換してください。 ・ 動画撮影が可能な画面に切り替えてください。
他の車載器に影響が出る (テレビが映らない等)	高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合等は、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。 また、ETC アンテナ付近に設置すると誤作動する場合があります。	テレビ、ラジオ、ETC アンテナ等から 50cm 以上離して取り付けをするか、アンテナ位置を離してください。 また、車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。
日時が正しくない	GPS を受信していますか？	お買い上げ時または長期間ご使用にならなかった場合、日付や時刻設定が初期化される可能性があります。 GPS が受信できる環境へ移動してください。
緊急録画ができない	衝撃感度設定が [オフ] [低] になっていませんか？	衝撃感知設定を [高] または [中] に変更してください。

その他

SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなりますので、定期的なフォーマットをおすすめします。

<ファイルの断片化について>

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをおすすめします。

→microSDカードについて P.1「microSDカードについて(重要)」

→フォーマットについて P.21「microSDカードについて」

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずmicroSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

microSDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとmicroSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・静電気が発生する場所
- ・水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・衝撃を受ける場所(曲げ折り込む)
- ・腐食性ガスが発生する場所

仕様

型番	DZ-325R
記録媒体	microSD カード* (16GB 同梱) 8~32GB 対応 (Class10)
ディスプレイ	2.0 インチカラー液晶
レンズ	4G+IR
イメージセンサー	200 万画素カラー CMOS
視野角 (画角)	対角：約 133° 水平：約 112° 垂直：約 57°
フレームレート	27.5fps
録画 (撮影) 記録解像度	1080P (1920×1080) / 720P (1280×720)
ファイル形式	動画：.mov / 静止画：.jpg
ループ (常時) 録画記録時間	1 分 / 2 分
録画モード	ループ録画 / 緊急録画
録画フォルダ分割比率	ループ録画：60% / 緊急録画：32% / 静止画：3% / システム：5%
G センサー (衝撃感知)	対応 (オフ / 高 / 中 / 低)
GPS	内蔵
映像補正技術	WDR
スーパーキャパシタ	対応
音声録音	対応
ガイダンス音声	対応
使用電源電圧	DC12V-24V (出力：5V)
消費電力	最大：7.5W (定格：1.5A、最大：2A)
本体寸法 (mm)	約 59(W)×62(H)×33(D)mm (レンズ含む)
本体重量	約 73g (microSD カード含む)
保存温度	-20℃～70℃
動作温度	-10℃～60℃
同梱品	本体、駐車監視用電源ケーブル、取付ステー (3M 両面テープ付) 3M 両面テープ (予備品)、microSD カード (16GB 本体挿入済) リセットピン、取扱説明書、保証書

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

Regeo

販売元：株式会社イノベティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1
innovativesale.co.jp

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～17:00

(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp